

高校生アンケート 調査結果

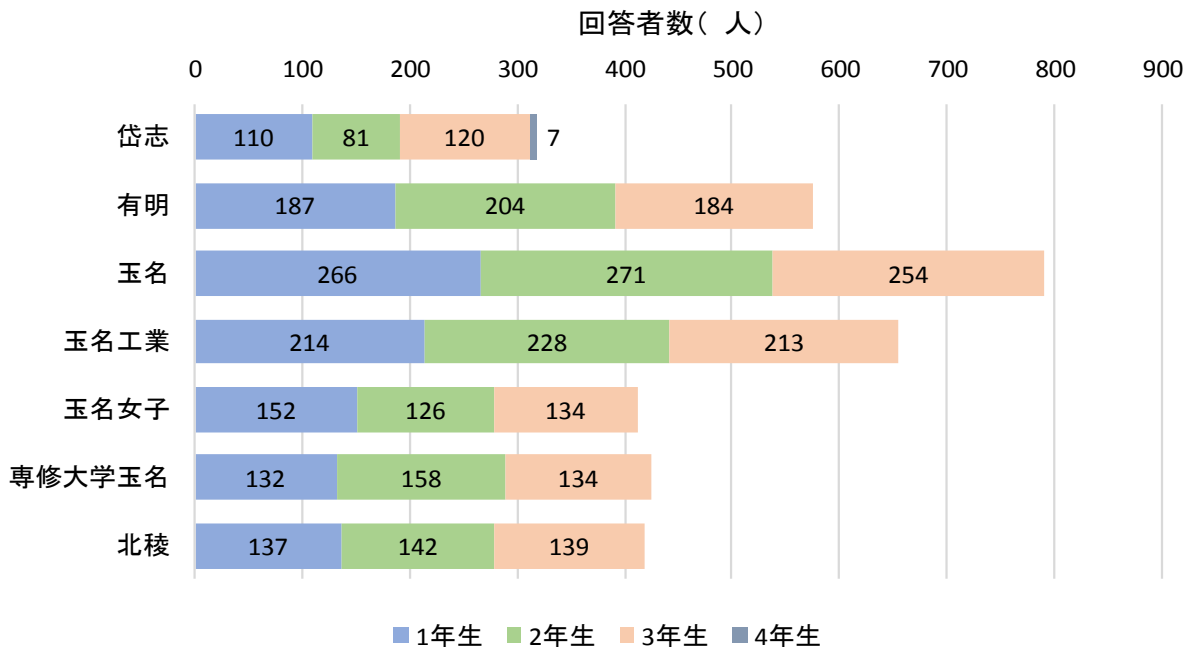
荒尾市地域公共交通活性化協議会

平成29年10月13日

調査の実施概況・回収結果

実施方法・回収結果

- 各高校の協力のもと、荒尾市内の2高校(県立岱志高校、私立有明高校)及び玉名市内の5高校(県立玉名高校、県立玉名工業高校、私立玉名女子高校、私立専修大学玉名高校、県立北稜高校)に通う全学生を対象に移動実態に関するアンケート調査を実施した。
- 計3,625名の高校生から調査票を回収した。
- 各高校とも学年に偏りなく回答されている。



高校生の移動実態

市内居住者の通学先と市内の高校に通学する学生の居住地

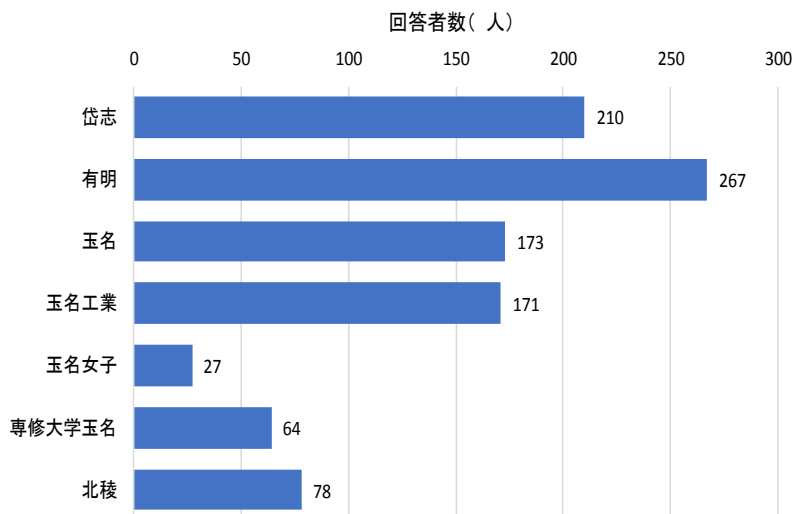
【市内居住者の通学先】

- 市内に居住する高校生の通学先は、岱志高校(普通科など)、有明高校(看護学科、普通科、福祉科など)が多くなっているが、玉名高校・玉名工業高校をはじめ、玉名市内の高校にも500人程度が通学しており、半数以上が市外の高校に通学している。

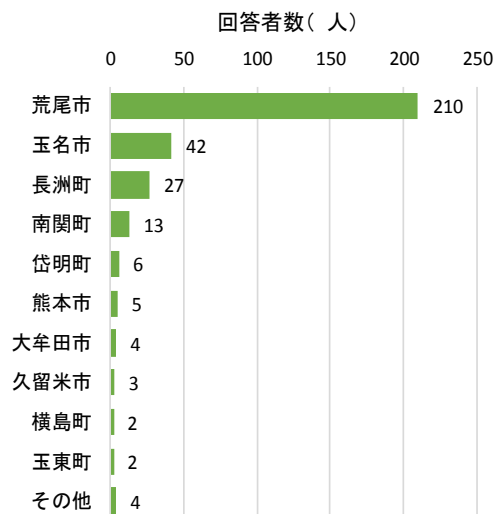
【市内の高校に通学する学生の居住地】

- 岱志高校・有明高校の学生は市内からの通学者が最も多く、有明高校では大牟田市からの通学者も150人程度存在する。
- 岱志高校・有明高校にはそれぞれ玉名市から50人弱、長洲町から30人弱通学している。

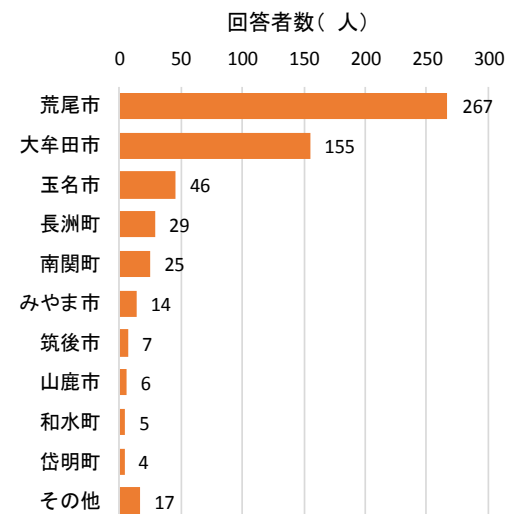
■ 市内居住高校生通学先(本市・玉名市)



■ 通学者居住地(岱志高校)



■ 通学者居住地(有明高校)



高校生の移動実態

市内居住者の通学時の移動手段

【市内高校への移動】

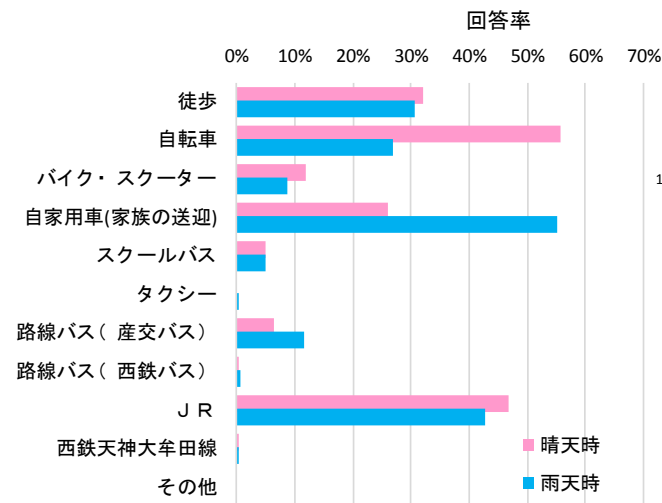
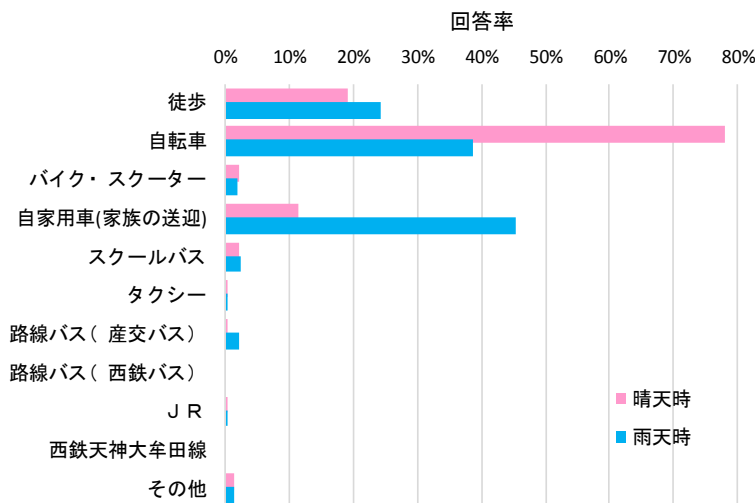
- 岱志高校・有明高校への通学時の移動手段は8割弱が「自転車」となっているが、雨天時は「自転車」の利用が減少し、「自家用車(家族の送迎)」に転換する傾向がある。

【市外高校への移動】

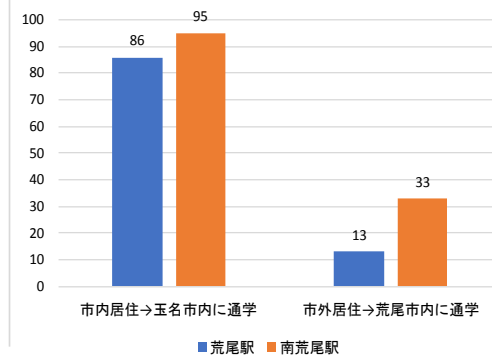
- 玉名市内の高校への移動手段は「自転車」と「JR」が約半数であり、自宅から鉄道駅まで自転車で移動する学生が多いことが分かる。(荒尾駅と南荒尾駅では、南荒尾駅の利用がやや多い状況である。)
- 雨天時には「自転車」利用が減少し「自家用車(家族の送迎)」に転じるものの、「JR」の利用はあまり減少していないため、鉄道駅までの送迎が多くなっていると想定される。
- 市外への通学時も「路線バス(産交バス)」の利用は1割程度であり、「JR」の利用の4分の1程度となっている。

■ 移動手段(市内→市内高校)

■ 移動手段(市内→玉名市内高校)



【参考】駅別利用状況

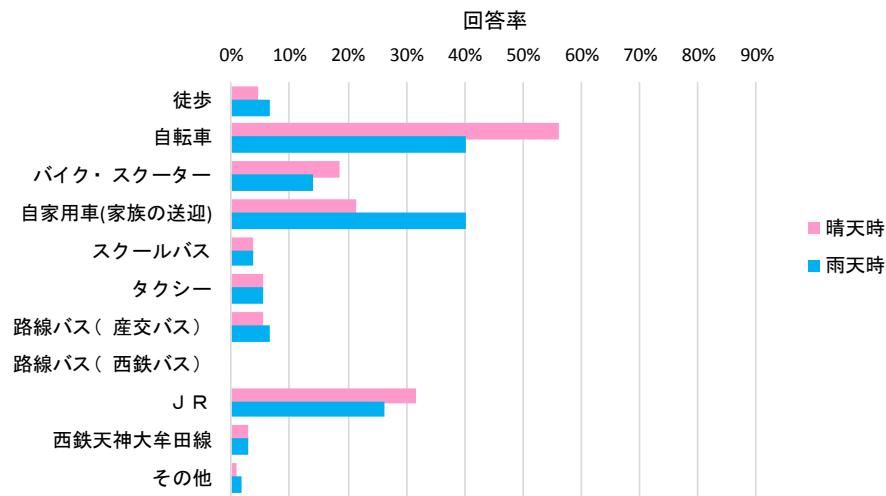


高校生の移動実態

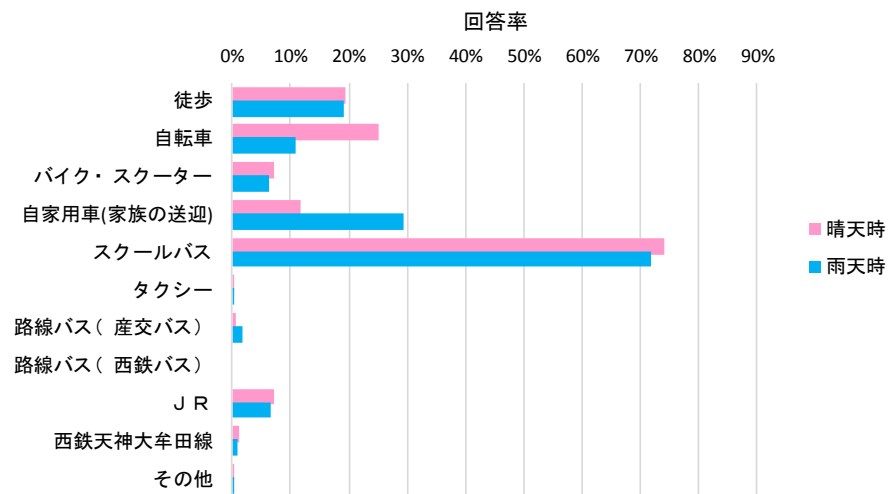
市外から岱志高校・有明高校への通学時の移動手段

- 岱志高校への通学者は「自転車」の利用が約半数、「JR」の利用が約3割であり、南荒尾駅からの自転車利用が想定される。
- 雨天時には「自転車」利用が減少し「自家用車(家族の送迎)」に転じるものの、「JR」の利用はあまり減少していないため、鉄道駅までの送迎が多くなっていると想定される。一方で、「路線バス(産交バス)」の利用はあまり増えておらず、天候に関わらず5%程度にとどまっている。
- 有明高校はスクールバス(大牟田・玉名・南関方面に15路線)を運行しており、当高校への通学者は7割以上が「スクールバス」の利用となっている。

■ 移動手段(市外→岱志高校)



■ 移動手段(市外→有明高校)



高校生の移動実態

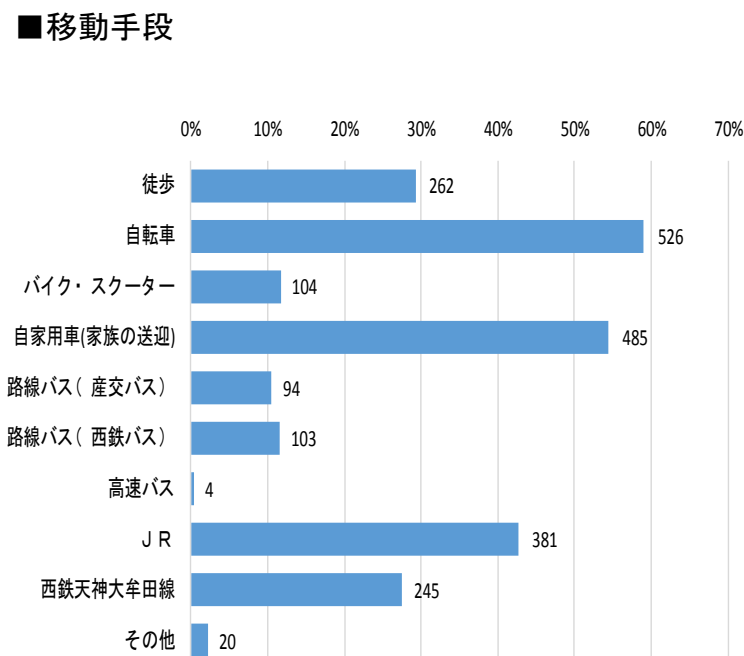
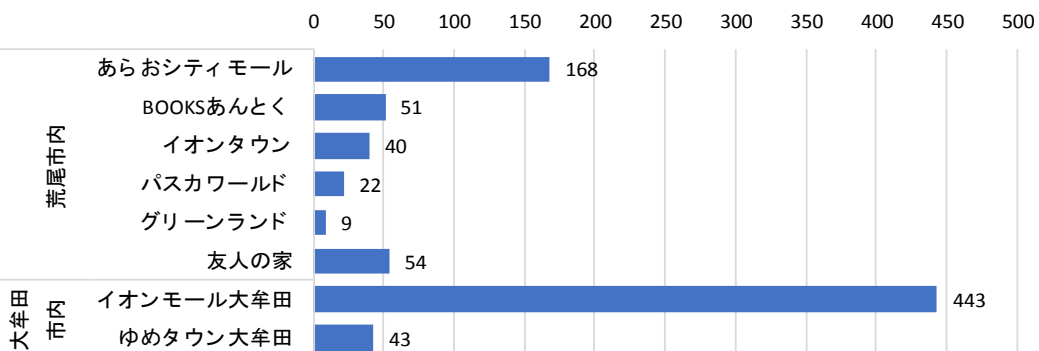
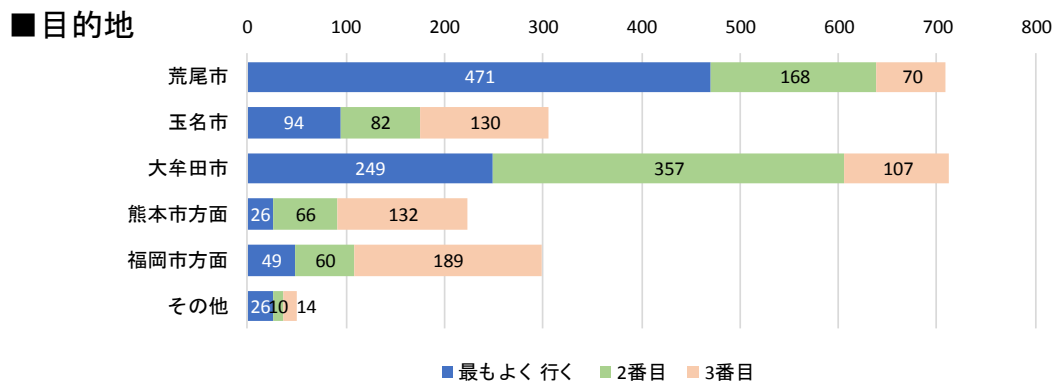
市内居住者の休日の外出目的地・移動手段

【市内居住者の休日の外出目的地】

- 市内に居住する高校生が休日に最もよく行くのは「荒尾市内」となっている。
- 2番目によく行く場所としては「大牟田市内」が多く、「玉名市」は比較的少数となっている。（大牟田市においては「イオンモール」を目的地とする人が突出しており、大きなニーズがあると見込まれる。）

【市内居住者の休日の移動手段】

- 通学時同様「自転車」の利用が多いが、「JR」や「西鉄天神大牟田線」など、広域的な移動においては鉄道も利用されている。
- 市内高校への通学時と比べて「路線バス」の利用が多く、産交バス、西鉄バスともに1割程度が利用している。

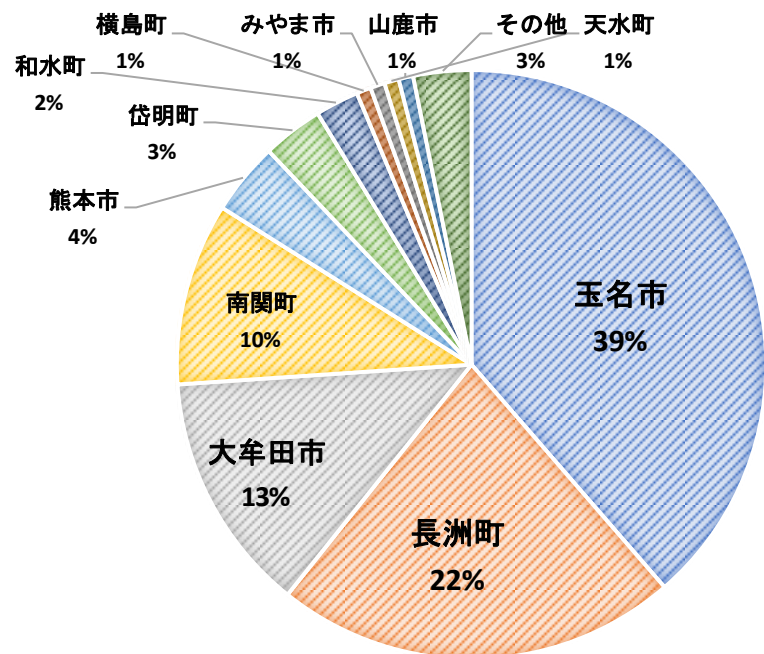


高校生の移動実態

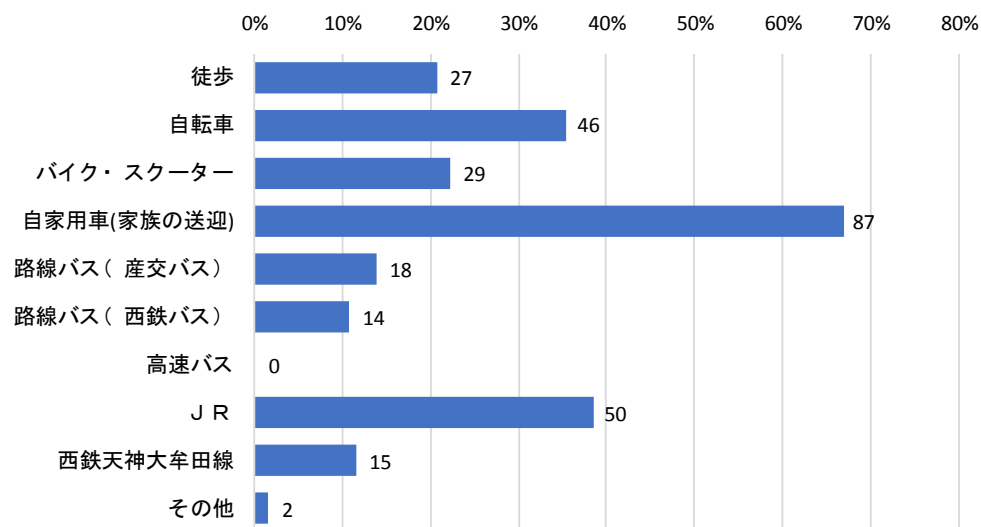
市外居住者の休日の本市への移動手段

- 市外に居住し、荒尾市・玉名市内の高校に通学する高校生のうち、休日によく出かける場所(1~3位)として「荒尾市内」と回答した高校生は629名おり、うち4割が玉名市、2割が長洲町であった。
- 大牟田市からも80名程度、荒尾市内に流入している。
- 移動手段としては「自家用車(家族の送迎)」が約7割、「JR」が約4割、「路線バス」が産交バス・西鉄バスとも約1割であった。

■居住地



■移動手段



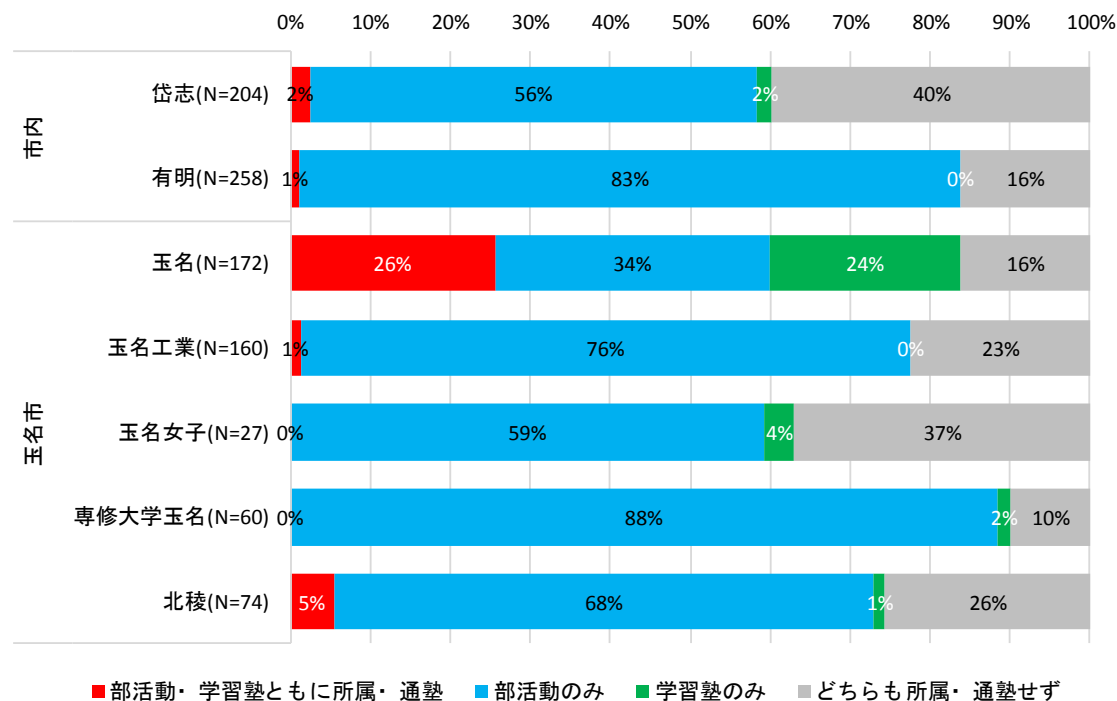
高校生の移動実態

部活動・学習塾への所属・通塾状況

【部活動への所属・学習塾への通塾】

- 市内に居住する高校生の部活動への所属状況、学習塾への通塾状況について、市内の2高校(岱志高校、有明高校)は半数以上が部活動に所属しているが、学習塾への通塾者は少数となっている。
- 玉名市内に通学する高校生のうち、玉名高校への通学者は6割が部活動に所属、5割が学習塾に通塾しており、玉名高校に通学する4人に1人が部活動・学習塾双方に所属・通塾している。
- 玉名市内の他高校では、部活動への所属者が6割～9割を占め、学習塾への通塾者は少数である。

■部活動への所属・学習塾への通塾(本市居住者)

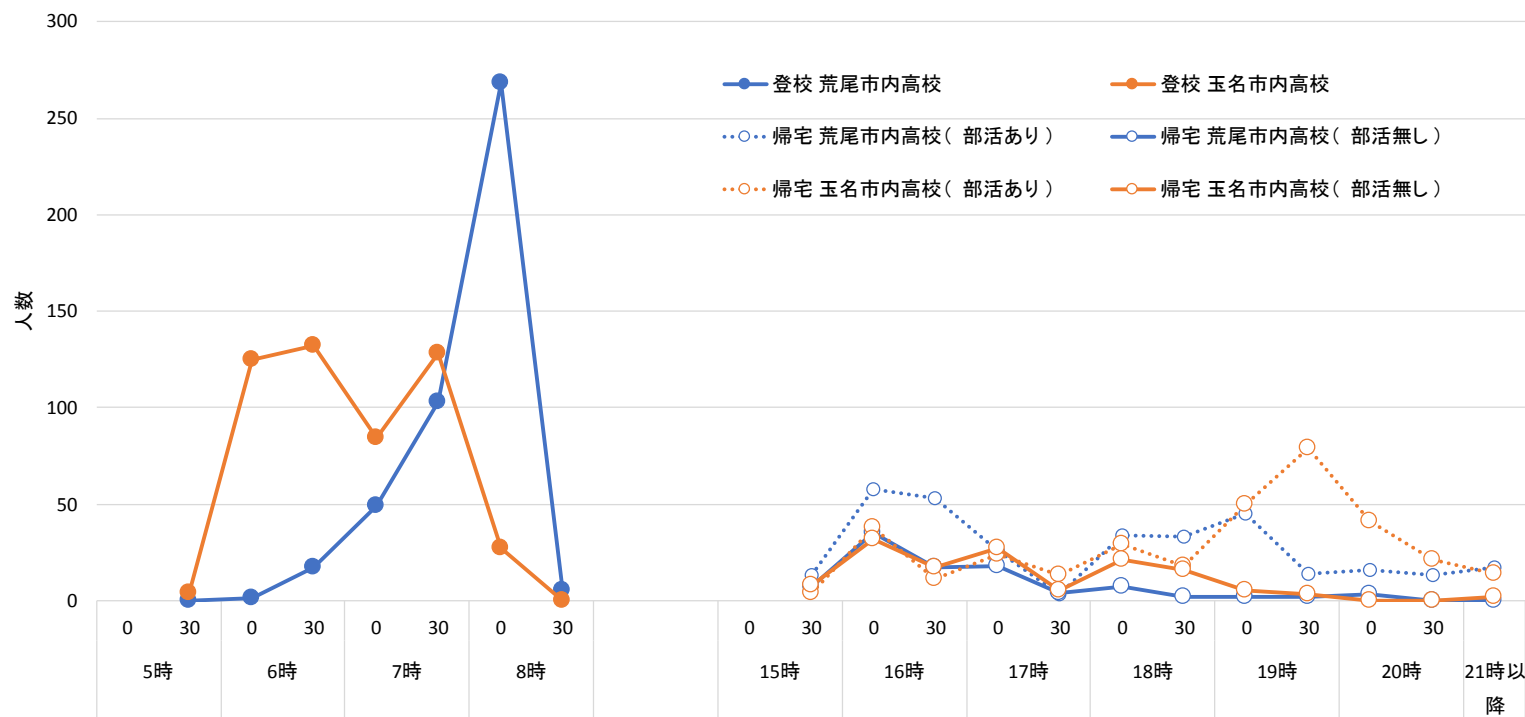


高校生の移動実態

登校・下校時刻

【登校・下校時刻】

- 市内に居住する高校生のうち、市内の高校に通学する高校生は8時ごろをピークに登校(自宅を出発)しており、玉名市内の高校に通学する高校生は6時台・7時台に自宅を出ている。
- 下校時刻は部活動への所属有無により左右され、部活動に所属しない高校生は、市内高校・玉名市内高校ともに16～18時に帰宅しており、部活動に所属する場合、本市内高校に通学する高校生は16時台と18～19時、玉名市内高校に通学する高校生は19～20時に下校(帰宅)している。



高校生の公共交通に対するニーズ

公共交通の満足度・不満点

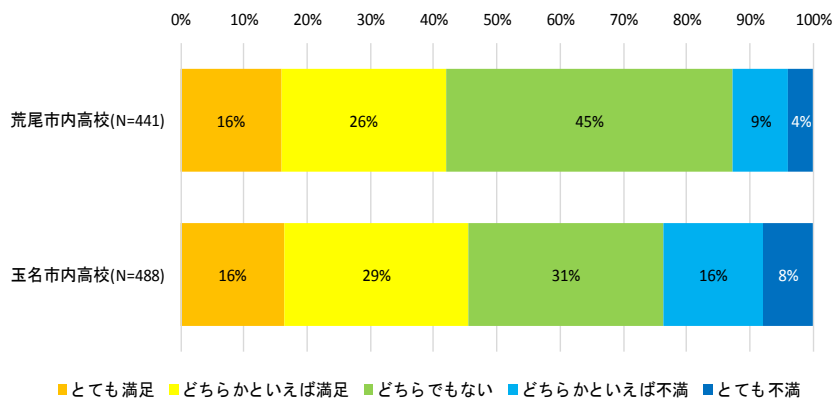
【満足度】

- 「とても満足」「どちらかといえば満足」を合わせると、4割以上の高校生が現状の公共交通に対して満足していると回答している。
- 玉名市内の高校に通学する高校生では、荒尾市内の高校に通学する高校生と比較して不満との回答が多く、4人に1人の回答者が「どちらかといえば不満」「とても不満」と回答している。

【不満点】

- 公共交通の不満点で最も多いのは「運行本数が少ない」ことであり、3人に1人の割合で回答している。
- 「乗りたい時間に運行されていない」「JR・西鉄天神大牟田線等との乗り継ぎが不便」との回答も多く、運行ダイヤや路線の移動ニーズとの不一致が懸念される。
- 「定期券(ICカード)の購入場所が限られている」との不満も回答者の2割程度存在する。

■ 公共交通の満足度(本市居住者)



■ 公共交通の不満点(本市居住者)

